

背景

- 社会情勢の変化に対応しつつ、両市の計画と整合性を保ち、かつ連携して、循環型社会の構築、持続可能な社会の形成を目指す。
- 施設整備が完了し、安全・安心を保ちながら施設の長期的な安定運用を行う。
- 焼却処理量の余力を確保し、災害時の対応能力を確保する。

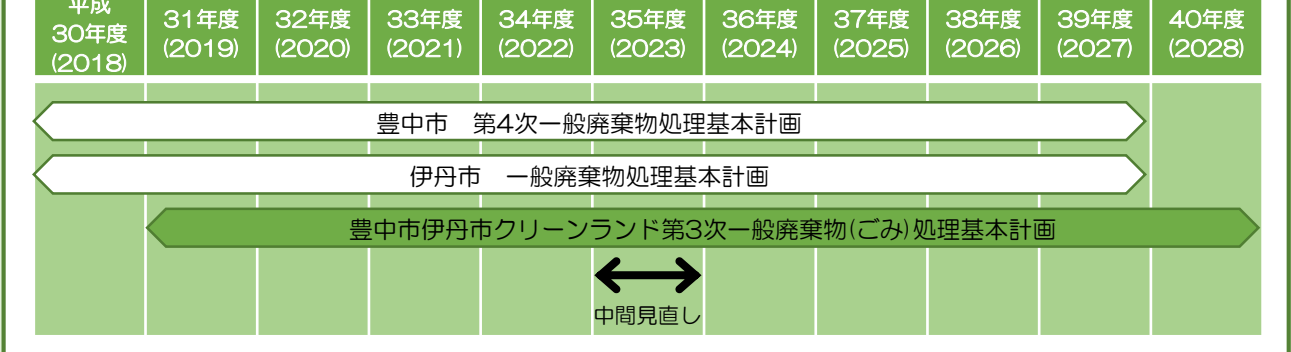
計画策定の趣旨

- 安全・安心で安定した施設運営に向けた課題の抽出と対応、今後の施策等について基本的な方向性や取り組みを定め、「市民に愛され信頼される『森の中の再生工場』」として循環型社会の構築と持続可能な社会の形成へ寄与することをめざす。

計画の位置づけ

- 「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」第6条第1項に基づき策定。

計画の期間



ごみ処理に関わる現状等

<ul style="list-style-type: none"> ● 両市の人口(平成29年(2017年)10月推計人口) <table border="1"> <tr> <th>豊中市</th> <th>伊丹市</th> <th>両市合計</th> </tr> <tr> <td>397,490人</td> <td>196,982人</td> <td>594,472人</td> </tr> </table>	豊中市	伊丹市	両市合計	397,490人	196,982人	594,472人	<ul style="list-style-type: none"> ● リサイクルプラザにおける火災等の発生件数 (平成29年度(2017年度)実績) <table border="1"> <tr> <td>火災等発生件数</td> <td>162件</td> </tr> </table>	火災等発生件数	162件
豊中市	伊丹市	両市合計							
397,490人	196,982人	594,472人							
火災等発生件数	162件								
<ul style="list-style-type: none"> ● 施設の概要 <p>【ごみ焼却施設】 平成28年(2016年)3月竣工 処理能力 525 t/日(175t×3炉)</p> <p>【リサイクルプラザ】 平成24年(2012年)3月竣工 処理能力 134 t/5時間</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 搬入ごみ検査の状況 (平成29年度(2017年度)実績) <table border="1"> <tr> <td>ごみ焼却施設</td> <td>17件</td> </tr> <tr> <td>リサイクルプラザ</td> <td>27件</td> </tr> </table>	ごみ焼却施設	17件	リサイクルプラザ	27件				
ごみ焼却施設	17件								
リサイクルプラザ	27件								
	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境学習施設・啓発活動の状況 (平成29年度(2017年度)実績) <table border="1"> <tr> <td>施設見学者</td> <td>9,516人</td> </tr> <tr> <td>出前講座参加者数</td> <td>8,942人</td> </tr> </table> <p>※その他にイベント、企画講座等を実施</p>	施設見学者	9,516人	出前講座参加者数	8,942人				
施設見学者	9,516人								
出前講座参加者数	8,942人								

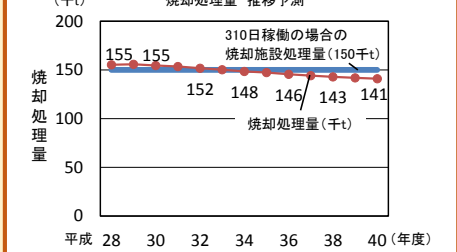
第2次計画の評価

- 3R推進に対応した施設整備**
 - ごみ焼却施設・リサイクルプラザ共に整備が完了した。
 - ごみの処理量が新ごみ焼却施設の施設規模算定時の計画処理量を上回っており、余力をもって処理することが困難な状況にある。
- 環境負荷低減、みどりのネットワークとの連携による環境創造**
 - 排ガス、排水、ダイオキシン類等について、基準値以下での排出を行っている。
- 協働での取り組みの推進**
 - 施設見学・イベント・出前講座等を通し、クリーンランド・両市・NPO協働で、環境学習を推進している。
 - 施設運営状況および今後の方針を公表し、市民や近隣住民との信頼関係の構築を図っている。

課題

- ごみ減量の推進**
 - 計画処理量を上回っている
 - 余力をもって処理することが困難
- 施設の安定稼働**
 - 施設の安定的な稼働
 - 確実なメンテナンスの実施
- 再利用・再資源化の推進**
 - 搬入ごみの適正化
 - 再利用・再資源化を推進
- 環境学習・啓発**
 - ひろばを加えた学習機能の充実・開発
- ライフスタイルの変化への対応**
 - ライフスタイルやごみ質の変化に、柔軟に対応
- 自律的・効果的な施設運営**
 - これまで培った技術の継承
 - 持続可能で効率的な施設運営
- 危機管理**
 - 災害廃棄物を適正に処理する余力の確保
 - 危機事態に対応するため実践力の向上

焼却処理量



- 両市の人口はほぼ横ばいで推移 → 人口減少に伴うごみ発生量の減少は困難
- 焼却施設の円滑な定期補修が可能な稼働日数 : 310日/年(150,000t/年) → 現状は上回っている 平成33年度(2021年度)頃に到達予定
- 大規模改修時にはさらに稼働日数を短縮する必要がある

計画推進

- PDCAサイクルに基づく進行管理
- 両市との連携強化
- さらなる財政の健全化と組織づくり・人づくりの推進

基本理念・基本方針・主な施策

【基本理念】
市民に愛され信頼される「森の中の再生工場」

【基本方針①】
市民に信頼される基盤施設をめざして

循環型社会形成に寄与する両輪となるごみ焼却施設・リサイクルプラザの安全・安心で効率的・効果的な稼働・運営を第一義とする取り組みを進める。

- 安全安心で安定した効率的な処理体制の確保**
 - ごみ減量の推進
 - 適正搬入の促進
 - 自律的な施設運営
 - 計画的な施設維持・整備
 - 最終処分場の安定的確保
 - 人材の育成
 - 職員の安全の確保
- 環境負荷低減と地球温暖化対策の推進**
 - 公害防止に向けた取り組み
 - 環境負荷低減に向けた取り組み
- 危機管理体制の強化**
 - 危機事態への実践力の向上
 - 災害廃棄物対策

【基本方針②】
市民に愛され親しまれる学びや交流の場をめざして

旧ごみ焼却施設ならびに余熱利用施設の跡地整備事業等を着実に進め、幅広い市民が憩い集う場を創造する。また、市民・市民活動団体・両市の環境部局など多様な主体との連携・協働のもと、より効果的な学習メニューの提供をとおり3Rの推進と市民との交流を深める。

- 環境学習・啓発の推進**
 - 両市との協働による啓発
 - 環境学習の充実
- 市民に開かれた場や機会の創出**
 - 市民との信頼関係の構築
 - 緑あふれる憩いと交流の場づくり